

たかおか

市議会 だより

No.80 9月定例会号
令和7年(2025年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	5P
代表質問	6P
一般質問(一括質問・一括答弁)	7P
委員会の動き	12P

編集■広報広聴委員会

発行■高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail: gikai@city.takaoka.lg.jp

「おとぎの森公園とドラえもんの日時計」(たかおか市議会だより表紙写真 応募作品) 撮影: 山上 尊士



©Fujiko-Pro

市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



補正予算・条例・令和6年度決算など

32議案を可決・認定・同意

代表・一般質問に13人が登壇

9月定例会は1日に開会し、29日に閉会しました。

市長から令和7年度一般会計補正予算をはじめ30議案が、議員から2議案が提出され、全ての議案を可決・認定・同意しました。

今定例会では、代表質問に1会派、一般質問に12人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・認定・同意した 主な議案等

条例

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正

国の登記情報連携システムが利用可能となることを踏まえ、書面等で登記事項証明書

の提出を求める行政手続きにおいて、システムでの確認により、添付の省略を可能とするもの。

市特別職の職員で常勤のもの

市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

高岡市民病院の一部病棟において、二交代制勤務を試験的に導入することに伴い、看護師等が深夜時間帯（午後10時から翌日の午前5時）の勤務に従事した際に支給される医療業務手当について、新たな時間区分及び手当の額を設定するもの。

る災害からの復旧・復興に必要な財源確保の一助とするため、市長給与の臨時削減を行うもの。

（現行）月額100万円
（改正後）月額60万円
（期間）令和7年9月17日（令和11年7月11日）

【看護師等の医療業務手当】

現 行	改正後
	勤務時間が7時間の場合 1回 7,300円
勤務時間が4時間以上の場合 1回 3,550円	勤務時間が4時間以上7時間未満の場合 1回 3,550円
勤務時間が2時間以上4時間未満の場合 1回 3,100円	勤務時間が2時間以上4時間未満の場合 1回 3,100円
勤務時間が2時間未満の場合 1回 2,150円	勤務時間が2時間未満の場合 1回 2,150円

その他

工事委託契約の締結

市道佐野上伏間江線の交通の円滑化を図るため、城端線上黒田踏切改良工事を行うもの。

契約金額 2億4010万円



高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修工事

工事請負契約の変更

高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修に係る公共工事について、インフレスライド条項の適用や、追加工事の発生等により、契約金額を変更するもの。

(1)校舎新築及び改修その1工事
（変更前）9億9395万円
（変更後）10億2938万円
(2)校舎新築及び改修その2工事
（変更前）4億293万円
（変更後）4億497万円
(3)校舎新築及び改修電気設備工事
（変更前）2億7860万円
（変更後）2億8106万円
(4)校舎新築及び改修機械設備工事

（変更前）4億3098万円
（変更後）4億2317万円

工事請負契約の変更

消防本部・高岡消防署庁舎改築工事について、インフレスライド条項の適用や追加工事の発生により、契約金額を変更するもの。

（変更前）15億2680万円
（変更後）15億2898万円

人事

教育委員会委員

成瀬 隆倫氏（再任）

監査委員

永原 善巳氏（再任）

公平委員会委員

小股 清香氏（新任）

人権擁護委員

吉川 佳子氏（再任）

副市長

竹内 延和氏（新任）

討論要旨

—令和6年度決算—

○同志会 《全会計：賛成》

水道事業会計では、基幹管路の更新事業をはじめ、老朽配水管や鉛給水管を耐震性・安全性に優れた管路に順次更新するとともに、国吉配水場基幹整備事業に伴う送配水管布設替工事を行った。安全で安心な水道水の供給と地震な

どの災害に強い水道施設の構築に努めたことを評価する。工業用水道事業会計では、令和5年度の料金改定から2年間の経過措置が終了し、7年度から収支改善が見込まれている。引き続き安定供給と経営改善に努めることを求める。

下水道事業会計では、老朽管路の更新事業を進めるとともに、中曽根雨水枝線整備事業などを着実に実行したことを評価する。水道施設の長寿命化や老朽化対策に加え、管路や施設の耐震化の加速が求められている。上下水道は重要なライフラインであり、長期的視点に立ち、将来にわたって安定的に供給されることを求める。

市民病院事業会計では、急性期病棟の一部を地域包括ケア病棟に転換したほか、アイセンターを開設し、眼科領域のほぼ全ての疾患に対応できる体制を整備したことや、精神病棟の多床室の一部を個室化し、入院しやすい環境整備に努めたことなど、市民の医療ニーズに沿った取組を評価する。入院・外来患者数が増加したものの、新型コロナウイルス感染症に係る補助金が終了したことなどにより医療外収益が減少し、約11億6千万円の純損失を計上した。そ

うした状況のなか、院内に経営健全化のための緊急対策会議を立ち上げるなど、自治体病院として求められる機能や持続可能な市民病院のあり方について検討が行われており、経営の健全化に向けて着実に取組を進めることを期待する。市民病院が今後も地域医療を支える拠点としての役割を維持することを求める。

令和6年能登半島地震の復旧・復興を最優先として、道路・河川・農地などの修繕工事を迅速に進めるだけでなく、被災した市民や事業者に対し支援を行った。被災者へ寄り添う姿勢とスピード感を持つて対応したことを評価するとともに、引き続き市役所一丸となって復旧・復興を進めることを求める。また、北陸新幹線敦賀開業により、交流人口の拡大や経済活動の活性化につながる施策に取り組みとともに、本市の未来を見据え、こどもをまんなかに据えた施策を部局横断的に実施したことを評価する。また、市債残高や実質公債費比率の減少など、5年度決算から確実に数値が改善しており、効率的な行財政運営を図ったことを評価する。今後の市政運営にあたっては、引き続き高岡の未来に投資を行い、あらゆる分

野の施策に積極的かつ緊張感をもって取り組むことを期待する。

○立憲民主・市民議員団 《全会計：賛成》

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と災害に強い水道施設の構築に努めるとともに、早急な対応が求められた令和6年能登半島地震の復旧事業を完了したことを評価する。下水道事業会計では、公共下水道及び特定環境保全公共下水道整備に取り組み、用水設備改築工事などを実施したほか、水位・流速センサーを活用した浸水対策を実施した。さらに、震災により被災した管路施設の調査を行い、順次復旧工事を進めた。今後は、上下水道ともに、人口減少と節水型社会により収益の向上は期待できない。物価高により維持管理費が増大するなか、施設の耐震化や老朽化対策が求められており、厳しい状態が続くと想定される。企業債残高の抑制などを図り、施設の更新を計画的、効率的に進め、経営基盤の健全化の強化を図ることを要望する。

市民病院事業会計では、アイセンターや地域包括ケア病棟の開設など、時代のニーズに応えた環境整備に取り組

だことを評価する。また、院内では緊急対策会議を設置し、市では有識者・市民の検討会議が開催されるなどの取組がなされており、今後も注視していく。自治体病院は地域医療を政策的に維持する役割があるが、物価高騰と賃金上昇により、国全体で9割近くが赤字という現状であり、これは国の制度設計上の問題と言える。今後は幅広い市民の要望や声を聞き、公共交通によるアクセス改善などを検討するとともに、これまで以上に医師確保策を講じ、特に産科の再開を強く要望する。そして、公立病院としての使命を果たし、地域医療体制を維持するため、第5期中期経営計画に基づき、急性期病院としての機能強化、政策的医療を担う役割の堅持、地域連携の更なる推進による地域包括ケアシステム構築の牽引を目指し、住民や医療機関に信頼される病院となることを要望する。

6年度は震災からの復旧・復興を最優先し、被災した市民や事業者に対する支援が行われた。被災地の住民からはまだまだ不安の声が聞こえることから、今後も被災者に寄り添い、希望が見える支援を求める。こどもをまんなかに

据えた事業が実施されたが、人口減少・少子高齢化の進展により、税収入の伸び悩みが予想される。費用対効果の高い事業手法の選択により、市債残高の適正な管理に努めることを要望する。震災からの復旧・復興を最重点に「住みたいまち 高岡」の実現に向けて、温かみのある公共交通施策や福祉・教育・医療施策を積極的に推進することを求める。

○公明党 《全会計：賛成》

水道事業会計では、管理経費の節減や効率的事業運営に努める中で、経営基盤の強化に取り組んだ。中でも官民連携の推進については、民間事業者の創意工夫を促し、持続可能な上下水道を構築するため、包括的業務委託を引き続き実施し、業務の効率化を図った。安全で安心な水道水の供給と災害に強い水道施設の構築に努めたことや、令和6年能登半島地震における被災管路の復旧工事に全力で取り組み、水道事業における災害復旧事業を完了したことを評価する。また、5年度と比較して総配水量、有収水量が減少するなか、当年度純利益として約3億9447万円を計上したことを評価する。下水道事業会計では、包括的業務

委託を引き続き実施するとともに、浸水対策に取り組んだほか、震災の復旧事業を行った。こうしたなか、当年度純利益として約4億1077万円を計上したことを評価する。

市民病院事業会計では、急性期病棟の一部を地域包括ケア病棟に転換し、高齢化の進展や高齢者のみの世帯の増加を踏まえ、入院期間が比較的長期になる患者や急性期後の在宅復帰に向けた入院診療に対応できるようにするなどの整備を行った。医業収支、医業外収支、資本的収支ともに非常に厳しい状況にある。この危機的状況を打開すべく、院内で立ち上げた経営健全化のための緊急対策会議、また、市において開催している有識者や市民の代表者による検討会議を行う中で、着実な収支の改善を図るとともに、市民の医療に対するニーズを汲み取り、今後も地域医療を支え、市民の命を守る拠点としての役割を果たしていくことを要望する。

震災への迅速な対応や継続的な支援を講じることで、被災地の再建を最優先で取り組んでいることを評価する。子どもをまんなかに据えた事業を実施し、市民からのニーズが高い事業に予算が投入され

議会日誌

6月定例会後～9月定例会前

6月19日	広報広聴委員会
7月1日	広報広聴委員会
28日	民生病院常任委員会
31日	総務文教常任委員会
8月1日	産業建設常任委員会
8日	港湾・交通・観光対策特別委員会 代表者会議
19日	代表者会議
25日	議会運営委員会 代表者会議
26日	正副常任委員長会議

9月定例会

9月1日	議員協議会 本会議(提案理由説明) 議案説明会
2日	代表者会議
3日	本会議(代表質問)
8日	議会運営委員会 本会議(一般質問(一括))
9日	本会議(一般質問(一括)) 水道病院決算特別委員会 決算特別委員会
11日	代表者会議 民生病院常任委員会 産業建設常任委員会
12日	議会運営委員会 人口減少社会対策特別委員会 総務文教常任委員会
17日	委員長会議 議会運営委員会 議員協議会 本会議(議案など議決) 広報広聴委員会
18日	水道病院決算特別委員会 決算特別委員会
19日	決算特別委員会 水道病院決算特別委員会
22日	決算特別委員会 水道病院決算特別委員会
24日	代表者会議 水道病院決算特別委員会 決算特別委員会
29日	委員長会議 議会運営委員会 議員協議会 代表者会議 本会議(決算の認定など議決)

たほか、本市の脱炭素先行地域の取組は、再生可能エネルギーの導入拡大や、省エネ技術の活用による地域のモデル構築など、持続可能な社会の実現に向けた一歩となった。次の10年、20年を見据え、新しい公共交通ネットワークの整備など、住み続けたい高岡となることを要望する。

○高岡愛・議員会

《全会計：賛成》

水道事業会計では、水需要の減少や物価高騰など、厳しい経営環境に直面するなか、支払利息などの管理経費の節減に努め、効率的な事業運営に取り組んだ。経常収支比率が110.1%と健全経営の基準とされる100%を上回る

結果であることを評価する。下水道事業会計では、経常収支比率が110.3%と依然として健全経営の水準を保っており、効率的な経営努力を評価する。何よりも、令和6年能登半島地震において、被災施設の調査や復旧に尽力したことを評価する。今後も、老朽化対策と耐震化を一層推進することを期待する。

市民病院事業会計では、診療報酬改定が全体でマイナス

改定となり、急性期病院にとって極めて厳しい経営環境となった。加えて、エネルギー価格や人件費が高騰し、赤字を計上せざるを得ない結果となったことを危惧している。このような状況のなか、様々

な工夫を行い、経営改善に努めていることを評価する。しかし、これは構造の問題であり、今後も厳しい状況が続くことは避けられない。現在進めている緊急対策会議をはじめとする収支改善はもとより、地域医療の拠点としての機能は守りつつ、どのような形であれば持続可能であるのか、あり方を早急に議論し、検討することを強く要望する。

震災の被害を受けたインフ

ラの復旧工事を進めるとともに、被災した市民や事業者に対する支援を実施しており、本市の安全・安心の確保に直結する取組を評価する。歳入面では、国による補填措置である地方特例交付金等が増加

し、結果として歳入総額は5年度を上回った。歳出面では、復旧・復興を最優先に据えつつ、事業の選択と集中、費用対効果を意識した施策展開により、市債残高の適正管理や事務事業の見直しが進められた。健全な財政運営を維持しつつ、必要な投資を行うという市政の責任を果たす取組を評価する。北陸新幹線金沢―敦賀間が開業し、交流人口の増加や経済活動の活発化につながったことも大きな成果である。引き続き、震災からの復旧・復興を最重点としつつ、「住みたいまち 高岡」の実現に向けて、それぞれの施策の推進に全力で取り組むことを強く期待する。

YouTubeでの 映像配信を行っています!!

本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を行っています。表紙の二次元コードから映像の一覧を確認できます。また、6～11ページの各議員の顔写真横の二次元コードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。

たかおか市議会だよりの 表紙写真を募集しています!!

右記の二次元コードを読み取るか、インターネットで「たかおか市議会だよりの」と検索して応募フォームへアクセスしてください。たくさんの応募をお待ちしております。

応募フォームは
こちら▶



応募するためには、Googleアカウントが必要です。

議決結果一覧表（令和7年9月定例会）

〔議 案〕

番号	件 名	結果
第78号	令和7年度一般会計補正予算（第3号） 14億3,572万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・伏木中学校区小中一貫校整備事業費 3億5,202万円 ・公共交通活性化事業費 1億865万円 ・ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業費 5,453万円 ・令和6年能登半島地震復旧・復興推進基金積立金 3億円など	可 決
第79号	令和7年度駐車場事業会計補正予算（第1号）	
第80号	令和7年度介護保険事業会計補正予算（第1号）	
第81号	令和7年度高岡市民病院事業会計補正予算（第2号）	
第82号	令和7年度下水道事業会計補正予算（第2号）	
第83号	事務分掌条例の一部改正	
第84号	附属機関に関する条例の一部改正	
第85号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	
第86号	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正	
第87号	市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
第88号	市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正	
第89号	市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
第90号	上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 附則「情報公開条例の一部改正」 「個人情報の保護に関する法律施行条例の一部改正」 「市職員定数条例の一部改正」 「市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正」 「手数料条例の一部改正」 「水洗便所改造資金貸付基金条例の一部改正」 「工業用水道事業給水条例の一部改正」 「下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正」 「農業集落排水事業分担金の徴収に関する条例の一部改正」 「市上下水道事業管理者の給与等に関する条例の廃止」	
第91号	市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	
第92号	水道事業給水条例等の一部改正 「水道事業給水条例の一部改正」 「下水道条例の一部改正」 「農業集落排水処理施設条例の一部改正」	

〔議 案〕

番号	件 名	結果
第93号	工事委託契約の締結（JR城端線上黒田踏切改良工事）	可 決
第94号	工事請負契約の変更（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修その1工事）	
第95号	工事請負契約の変更（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修その2工事）	
第96号	工事請負契約の変更（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修電気設備工事）	
第97号	工事請負契約の変更（高陵中学校区小中一貫校校舎新築及び改修機械設備工事）	
第98号	工事請負契約の変更（消防本部・高岡消防署庁舎改築工事）	
第99号	令和6年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	同 意
第100号	令和6年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
第101号	教育委員会の委員の任命について同意を求める件	
第102号	監査委員の選任について同意を求める件	
第103号	公平委員会の委員の選任について同意を求める件	
第104号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	
第105号	副市長の選任について同意を求める件	

〔議員提出議案〕

番号	件 名	結果
第4号	市議会委員会条例の一部改正	可 決
第5号	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	

〔認 定〕

番号	件 名	結果
第1号	決算の認定 （令和6年度高岡市民病院事業会計決算） （令和6年度下水道事業会計決算） （令和6年度工業用水道事業会計決算） （令和6年度下水道事業会計決算）	認 定
第2号	決算の認定 （令和6年度一般会計歳入歳出決算） （令和6年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算） （令和6年度荻布奨学金事業会計歳入歳出決算） （令和6年度駐車場事業会計歳入歳出決算） （令和6年度介護保険事業会計歳入歳出決算） （令和6年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算）	

いずれも、全会一致で可決、認定、同意されました。

代表質問

今定例会では、同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



同志会
水口 清志

水口議員の
質問の様子はこちら



市政運営の方針

問 「住みたいまち 高岡」の実現に向けて、どのように市政運営に取り組むのか。

市長 本市が抱える課題に迅速かつ適切に対応し、持続可能な市政運営を行うためには、これまでの考え方や手法にとらわれず、新たな時代を見据えた取組へとチェンジし、変革を実現する必要がある。そのためには、市民や議会などとの対話を重ね、意見を伺うことが重要である。私としては、市が直面する状況や閉塞感を一刻も早く打開するため、課題を先送りせず、スピード感をもって対応していく決意である。先人のためまぬ努力の積み重ねにより、歴史・文化を守り受け継いできた圧倒的

な市民力が高岡にはあり、これを礎に、市民主体のまちづくりを推進していきたい。

市民との対話

問 市長のまちまわり「まちかどトーク」の狙いは。

未来政策部長 市民主体のまちづくりを進めるためには、市民との対話を行い、理解や共鳴を得ながら、ともに考えることの積み重ねが大切である。このため、市連合自治会の協力のもと、市長が市内36地区の連合自治会に出向き、地域が抱える課題などのテーマに基づき語り合う「まちかどトーク」を実施する予定である。いただいた意見等を市政運営に反映できるよう努めるとともに、今後も意見交換の機会を継続的に設け、市民との対話を重視した市民主体のまちづくりに努めていきたい。

震災からの復旧・復興

問 液状化対策の今後の進め方についての見通しは。

都市創造部長 伏木、吉久地区では、準備が整い次第、地下水位低下工法の試験施工の説明会を開催し、合意を得られたところから着手する予定である。横田地区では、面的な液状化対策の必要性について、液状化対策アドバイザーや専門コンサルタントと慎重に精査している。精査の結果を見たうえで判断となるが、面的な液状化対策の必要性が低いと考えられることから、当該地区の残る課題に適した対策のあり方を検討する予定である。また、先般、県から地下水位低下工法に係る施設等の長寿命化に要する経費のうち2分の1を支援する方針が示された。これは本市の液状化対策の推進に大きな後押しになるものであり、市としては、引き続き丁寧な説明に努め、できるだけ早期の合意形成を目指していく。

城端線・氷見線の再構築

問 城端線・氷見線の再構築に向けて、積極的な議論を進めていくべきでは。



城端線・氷見線新型車両イメージ

市長 城端線・氷見線の再構築については、これまで県沿線市、鉄道事業者とともに、スピード感をもって議論が進められ、短時間で密度の濃い実施計画が取りまとめられたものと受けとめている。この計画に位置付けられた事業を着実に進めていくとともに、引き続き関係者と連携しながら議論を加速していきたい。再構築会議の検討により、新型車両の仕様やデザインが決定したほか、令和7年度中に交通系ICカードのサービスが開始される予定である。今後は、運行本数の増加に伴うダイヤの検討や沿線市の費用負担の考え方などを議論していく予定である。引き続き関係機関と連携を図りながら、再構築に向けた取組を進め、県西部全体の交通ネットワーク

クの強化、観光需要や経済効果の拡大にもつなげていきたい。

新庁舎整備ロードマップ

問 新庁舎整備に向けた考えは。

市長 ロードマップは2つの理由から白紙撤回する。1つ目の理由は、ロードマップが現庁舎から出ていくことを前提とした内容で、現庁舎の建物をどうするかといった視点が盛り込まれていないためである。2つ目の理由は、ロードマップが市民の思いや考えを反映したものではないためである。このような点から、ロードマップに沿って新庁舎整備ありきと結論付けるのは、時期尚早ではないかと考え、取り下げることにする。庁舎のあり方については、市民の方々を巻き込んだ議論が不可欠であり、一旦立ち止まり、熟考したい。今後、庁舎を新しく整備することが必要かどうか、移転すべきかどうかなどについて、市民の方々の意見を伺う手法や時期の検討を進めていく。市に寄せられた声を十分に踏まえ、慎重な議論を重ねることにより、庁舎のあり方検討についても抜本的にチェンジしていきたい。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、12人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



熊木 義城
高岡愛・議員会

熊木議員の
質問の様子はこちら



いづもの居場所づくり

国 国の補助メニューを活用し、居場所の有無やこどものニーズなどを把握するための実態調査を行っては。

福祉保健部長 令和7年8月に本市と県が連携し、こども意見表明交流会を開催した。交流会では、「放課後や休日の居場所について」をテーマに、市立学校の代表が市長や知事に意見表明を行い、こどもが求める居場所について、こどもの声を直接聴くことができた。今後、居場所づくりに携わる方々へのヒアリング等を行い、居場所の実態把握に努めるとともに、こどもを対象にアンケート調査を実施することとしている。

(仮称)教育総合支援センター

国 (仮称) 教育総合支援センターについて問う。

(1)開設に向けたスケジュールと、運営方針は。

(2)児童生徒や親、支援団体を含めた様々な声が運営に反映されるべきと考えるが、どのように反映していくのか。

教育長 (1)令和8年4月の開設を目指し、現在、第1期工事として、旧平米小学校校舎の改修工事に取り組んでいる。9年度には、第2期工事として、多目的スペース等の増築を行い、11年4月の完成を目指している。センターでは、チーム支援を大切にし、不登校支援、外国人児童生徒支援、特別支援のそれぞれの領域において、相談対応や支援を行うこととしている。各学校や関係機関等と十分な連携を図り、総合的にこどもたちの健全な成長と自立を支えることを目指していく。

(2)開設に向けての支援内容等の検討にあたっては、関係機関等から意見をいただきながら協議している。また、セン



林 貴文
高岡愛・議員会

林議員の
質問の様子はこちら



雨晴駅の利用促進

国 雨晴駅において、城端線・氷見線のあいの風とやま鉄道への移行前に利用者増に向けて、取組を検討しては。

未来政策部長 再構築会議において、運行本数の増加やダイヤ改正について議論し、利便性の向上を図っていく。また、令和7年度はJR西日本の協力のもと、雨晴駅に展望デッキを整備することとしており、駅自体の魅力向上を図りながら、利用者の増加につなげたい。駅の魅力向上や駅

ター開設後、(仮称)運営協議会を設置し、関係機関等の代表者に加わっていただき、定期的によりよい支援や連携等のあり方について協議を重ねながら、常にセンターの運営の改善を図っていく。

震災復興と次期総合計画

空間の活用には、鉄道事業者の協力が必要であり、実現可能性を含め相談していく。

国 震災からの復興を次期総合計画に組み込んでいくべきと考えるが、見解は。

未来政策部長 次期計画では12の目指すまちの姿を掲げ、その実現に向け、6つの政策分野について施策の方向性を定めていく予定である。目指すまちの姿として「安全で快適な生活基盤が整っている」や「安心して生活できる環境がある」といった将来の姿を設定したところであり、都市基盤に係る政策分野や、くらし・地域に係る政策分野に震災からの復興を組み込んでいきたいと考えている。

国 本市の学校再編の取組について、寄附など地元から協力があつた学校施設等の取り扱いはどうに考えているのか。

学校再編

教育長 学校には、地域や卒業生などから寄附された施設や銅像、石碑、樹木、美術工芸品などが設置されている場合がある。これまで、学校再編の際には、寄附による施設等について、経緯や状況に応

じて、学校や地域等とも相談しながら、その取り扱いを判断してきた。今後も、意見を聞きながら取り扱いを検討し、より良い教育環境を整備するよう取り組んでいく。



寄附を受け建築された伏木中学校弓道場



梅島 清香
同志会

梅島議員の
質問の様子はこちら



子育て環境の充実

国 ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業について、令和7年度は国の交付金を活用するが、8年度以降に継続する場合は、どのように財源を確保するのか。

福祉保健部長 7年度に引き続き、国や県の補助金、交付金の活用を検討するとともに、選択と集中の視点に立った既存事業の見直し等も勘案しながら、財源の確保に努めたい。

大雨への対応

問 8月の大雨について問う。

(1) 消防本部、消防署及び消防団はどのような体制で対応し、出動状況はどうであったか。
(2) 配置した排水ポンプ車の効果は。

消防長 (1)消防本部及び消防署は、非番及び週休の職員に

対して非常招集を行い、当務の職員と合わせて227人の体制で対応に当たった。また、消防団も災害活動マニュアルに基づき消防団員の招集を行い、155人の体制で対応に当たった。大雨による消防職員及び消防団員の出動状況については、救助出動が4件、救急出動が5件、家屋の浸水等に伴う調査出動が107件あり、要救助者の救助活動のほか、河川や土砂災害警戒区域に対する警戒活動、家屋などの浸水箇所の確認などの活動を実施した。

都市創造部長 (2)効果として

は、浸水範囲と浸水継続時間の減少が考えられる。今回は、処理能力を上回る豪雨により、

浸水被害が生じたものの、排水作業の従事者や住民からは、「小矢部川の支流側水路の水位上昇がある程度抑制できた」「思ったよりも浸水範囲が拡大せず、短時間で浸水が収まった」との声があり、排水ポンプ車は被害の軽減に有効だったと考えている。本市としては、状況に応じて排水ポンプ車の効果が適切に発揮されるよう、平時からの訓練や実際の排水作業で見えた課題を日々改善しながら、大雨の対応力の向上を図りたい。



田中 勝文
同 志 会

田中議員の
質問の様子はこちら



豪雨対策

問 今後の豪雨対策として、浸水リスクの高い地域に雨水調整施設を整備するべきでは。

上下水道局長 本市はこれまで、浸水リスクの高い地域の対策として、雨水ポンプ場の増強や雨水幹線整備等を実施してきた。雨水調整施設は、

局地的な浸水被害の軽減を図るには有効な対策と考えており、必要とする箇所について

は設置を指導している。一方、既存市街地等では用地確保等の課題があることから、引き続き雨水幹線整備に継続して取り組むほか、ハード及びソフト両面からより効果的な浸水対策に取り組んでいきたい。

避難所としての機能

問 竹平記念体育館サブアリーナは、防災避難所の機能を有すると想定されており、建設を進めていくべきと考えるが、見解は。

市長 サブアリーナについては、メインアリーナ廃止後は、避難所機能を有した社会体育施設としての活用が想定されていることは認識している。

しかし、将来的な新総合体育館の建設を見据えたとき、サブアリーナの建設は二重投資になるのではないかと、選挙戦を通して訴えてきた。建設に対する基本スタンスは変わらないが、地域における避難所機能の確保は、安全・安心なまちづくりを進める上で、非常に重要な要素であり、今後、様々な角度から検討を重ねたい。

アーバンスポーツ

問 アーバンスポーツに対する本市の想いは。

教育長 アーバンスポーツは



牧野大橋高架下仮設スケートパーク

若年層を中心に人気を集めており、本市でイベント等が開催されることにより、市内外の交流人口の更なる拡大につながることを期待できる。今後は、ニーズ調査の結果を踏まえながら、アーバンスポーツを楽しむための環境づくりに向けて、施設整備の検討を進めていきたい。



上田 武
立憲民主・
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



被災地区での対話集会

問 対話集会で出た意見や要

望に対しての見解は。

市長 参加者からは「何よりも道路等の復旧を急いでほしい」「空き地・空き家の利活用を考えてほしい」などの多くの意見をいただいた。インフラ復旧については、令和8年度末までの復旧完了に向け、引き続き全力で取り組んでいく。復興に対する意見には、対応ができると感じるものもあれば、対応が難しいと感じるものもあった。いずれの意見も今後のコミュニケーション維持に対する強い思いが込められており、参考になった。年内に復興会議を立ち上げ、地域の代表者や専門家の意見を取り入れながら、復興のためのアイデアを練り上げたい。

液状化対策の費用負担

問 地下水位低下工法を採用した場合の維持管理費について、住民に費用負担を求めず、公費負担とすべきでは。

市長 住民負担ゼロが被災者の不安を払拭し、事業推進に向けた合意形成に不可欠と考えている。先般、県から地下水位低下工法に係る施設等の長寿命化に要する経費のうち2分の1を支援する方針が示された。本市にとって大きな追い風になると捉えており、住民負担ゼロを実現したい。

物価高騰対策

副 福祉事業所等へのエネルギー価格高騰及び食料費高騰対策助成について、令和7年7月から9月までとしているが、10月以降も支援が必要では。

福祉保健部長 国は、7月から9月までの電気・ガス料金に係る支援措置を講じる方針を示している。県もこの方針に沿って物価高騰対策を実施するため、市も県と協調して実施することとした。10月以降の支援については、国が適切に対応すると考えている。市としては、国の動向を注視しつつ、市内の福祉事業所等の実情も踏まえ、必要に応じで対応していきたい。



山上 尊士
公明党

山上市議員の
質問の様子はこちら



認知症対策

副 MCI（軽度認知障がい）の検査費用の支援をしてはと考えるが、見解は。

福祉保健部長 認知機能に関するチェックリストを活用し

た医療・介護等の専門職による相談等を通して、MCIの早期発見と早期対応に努めている。MCI検査には、検査により早期に認知機能の低下を発見できても、その時点で本人が自立して生活している、支援につながらないという課題がある。現時点では、実施する考えはないが、他市で実施事例もあり、引き続き調査していく。

安全・安心なまちづくり

副 高齢者世帯への防犯備品の購入に対する補助を実施してはと考えるが、見解は。

生活環境文化部長 近年、特殊詐欺被害や悪質な業者による訪問販売での消費者被害など、高齢者世帯が犯罪被害に遭うケースが増加している。被害防止には、録音機能付電話機、防犯カメラの設置などの防犯対策を行うことが効果的と言われている。高齢者世帯への防犯備品購入に対する補助については、他市の事例を参考に、導入の可能性について調査研究していきたい。

脱炭素化に向けた取組

副 脱炭素化を進めて行く上で市民への意識啓発にどのような取り組みで行くのか。

生活環境文化部長 市民の環



たかおかクールアースフェスタ

抜本的に「チェンジ」すると公約しているが、何を指すのか。また、具体的な施策と数字で示すべきと考えるが、見解は。
市長 行政課題が複雑・多様化する中で、市民が支え合えるように税金の使い方をチェンジすることで、よりよい社会を築いていきたい。具体的には、大型投資を伴う新たな事業については、市民との対話や丁寧な議論等のプロセスを重視したい。また、既存事業については、良い事業は一層の改善を図り、課題がある事業は見直しを検討したい。具体的な施策や数字は、チェンジした考え方の結果として表れると考える。

市民協働型地域交通システム

副 市民協働型地域交通システムの現状と今後の方針・予定は。

未来政策部長 市内5地区で各地域の実情に応じた交通サービスが提供されている。各地区では、利用者や地区住民からの声を反映し、運行ルートや運行ダイヤ等の見直し、定期券の販売などに主体的に取り組んでいただいており、地区の移動の足として着実に定着してきている。本市としては、取組のサポートはもとより、相談のあった他の地区

に対しても、これまでに得たノウハウ等の共有や事例紹介など、きめ細やかに対応することで、市民協働型地域交通システムの更なる普及拡大を図りたい。

学校再編

副 学校再編の進捗状況は。また、今後の具体的予定は。

教育長 当初の予定通りに進捗している。高陵中学校区と高岡西部中学校区は、施設一体型の小中一貫校の開校に向け、校舎増築及び改修工事を行っている。伏木中学校区は、6年度に統合小学校開設準備会を立ち上げた。中田中学校区は、9年度を目途に、整備に向けた準備に着手する。



新開 広恵
公明党

新開市議員の
質問の様子はこちら



エアコン購入費の助成

副 高齢者や障がい者のいる世帯で、市民税非課税世帯へのエアコン購入費の助成を検討しては。

福祉保健部長 本市では、民生委員や地域包括支援センタ

税金の使い方

副 市長は「税金の使い方」を



酒井 善広
同志会

酒井議員の
質問の様子はこちら



1等と連携し、エアコンの適切な使用など、高齢者や障がい者の熱中症予防や対策の周知に努めてきた。令和6年3月末の内閣府の消費動向調査によると、60歳以上の単身世帯のエアコン普及率は全国で83.5%であり、既に一定程度設置されていると認識している。このため、エアコン購入費の助成については、現時点で実施する考えはないが、他市で実施している事例もあることから、引き続き調査していきたい。

授業前の居場所づくり

図 児童育成クラブやNPO法人による「授業前の居場所づくり」の必要性をどのように認識しているのか。また、保護者アンケートなどの実態調査を行い、ニーズを把握すべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長 本市としては、現段階において、児童の保護者から平日の朝に自宅以外の場所を利用したいといった意向は伺っていないが、国が実施した実態調査の結果から、一定のニーズはあると認識している。今後、アンケートなどの実態調査を通じて、状況把握に努めていきたい。

ワクチン接種への助成

図 带状疱疹ワクチン任意接種者への助成制度を今後も継続しては。

福祉保健部長 令和7年度から带状疱疹ワクチンが定期接種となったことに伴い、任意接種の助成対象者を50歳以上の方から、50歳以上65歳未満の方に見直した。経過措置として7年度は、65歳以上の方で定期接種の対象となる年齢になる前に接種を希望する方も助成対象としている。任意接種の助成は、定期接種を補完する制度として考えており、国の動向を注視するとともに、課題等を整理しながら、今後も実施していきたい。



石須 大雄
立憲民主・
社民議員団

石須議員の
質問の様子はこちら



液状化対策

図 液状化対策の維持管理費に対する地元負担をなしとしているが、見解は。

市長 住民負担ゼロを実現したいと考えている。本市が対策工法として選定した地下水

位低下工法は、液状化現象に伴う被害の低減が期待される反面、多少なりとも地盤沈下等のリスクを伴うことから、事業推進のために住民の合意形成が不可欠である。先般示された県の支援方針が、本市にとって追い風になると捉えており、これを活用することにより合意形成を加速したいと考えている。

伏木地区の復興

図 伏木地区の復興について、長く険しい道のりになると思

うが、意気込みは。

市長 伏木地区は、広範囲のエリアで液状化被害を受け、コミュニティ維持が大きな課題である。また、被害の程度や被災者のおかれている状況は様々であり、復興への考え方にも温度差がある。今後、地域の方々が同じ方向を向き、未来に希望を持つてもらえるよう、将来を見据えた新たな復興計画が必要と考えており、任期中に何としても復興への道筋をつけたいと思っている。今後被災者に寄り添い、地域の方々と手を携えて誠心誠意取り組んでいく。

高岡市民病院の役割

図 高岡市民病院の高岡医療圏におけるこれまでの役割は。

市民病院事務局長 急性期病院として地域の基幹病院の役割を担うとともに、救急医療

において、他の病院と連携しながら救急患者を受け入れている。加えて、精神・感染症・災害医療といった政策的医療の役割も担っている。また、開業医の紹介・逆紹介等に積極的に取り組み、地域の医療機関との機能分化を進めている。近年は、地域包括ケア病棟の開設や訪問看護の拡充にも取り組み、地域包括ケアシステムの構築に尽力している。



埜田 悦子
立憲民主・
社民議員団

埜田議員の
質問の様子はこちら



子育て支援

図 子育て支援について問う。
(1) 民間の不登校のフリースクール等を利用する児童生徒の人数は。また、市内小中学校との連携状況は。

(2) ファミリー・サポート・センター事業の利用件数の過去5年の推移と、利用促進にあたっての課題は。

教育長 (1) 令和7年7月末時



市ファミリー・サポート・センター利用のイメージ

点で、小学生12名、中学生17名がフリースクール等の民間支援施設を利用している。また、本市の適応指導教室に通所している児童生徒は、小学生3名、中学生7名である。各学校においては、それらの施設に訪問またはオンライン会議システムを利用して、児童生徒の様子を把握したり、支援員の方と意見交換したりしている。

福祉保健部長 (2) 利用件数は、2年度は372件、3年度は343件、4年度は567件、5年度は351件、6年度は351件である。利用促進にあたっては、協力会員の定着や新規会員の確保が課題と考えている。子育て支援を受けたい人がしっかりとサポートを受けられる体制を整えていくよう、委託先と連携し取り組んでいく。

物価高騰の支援

副 福祉事業所等へのエネルギー価格高騰及び食料費高騰対策助成について、支援単価の根拠は。また、高騰分のどれだけが反映されているのか。

福祉保健部長 エネルギー価格については、令和7年7月から9月の3か月換算で高騰分を4万円と試算した。その上で6年度と同水準の基準で助成することとしており、県と協調して支援単価を5千円と設定し、試算した高騰分の8分の1を助成している。食料費については、国が定める入院時の食事基準額と消費者物価指数の動向を踏まえると、本来必要となる額と診療報酬で示される基準額との差は1食あたり24円と試算した。県と協調して試算した高騰分を全額助成している。



坂林 永喜
同 志 会

坂林議員の
質問の様子はこちら



生活困窮者等への支援

副 本市の一人暮らしの生活困窮者等について問う。

(1) 地域包括支援センターの設置基準は。また、定期的に増設の検討、設置場所の見直しを行っている。

(2) 高齢者世帯・単身世帯の増加により、家庭や地域だけでは解決できない複雑化・複合化する課題を抱えるケースが増えてきていると思われるが、どのように取り組んでいるのか。また、今後の方針は。

福祉保健部長 (1) 本市では、地域包括支援センター運営協議会での審議に基づき、市域をおおむね中学校区に区分した11の日常生活圏域を設置し、それぞれの圏域にセンターを配置している。増設や設置場所の見直しについては、現時点では考えていない。一方、今後見込まれる人口構造の変化を見据え、センターの統合や圏域の見直しなど、そのあり方について、将来的には議論していかねばならない課題と認識している。

市長 (2) 本市では、一人暮らし高齢者や前年度に医療や介護、健診を受けていない高齢者を対象に、市職員や地域包括支援センター職員が訪問している。複雑化・複合化している課題を抱えるケースについては、関係課と関係機関等とが情報共有を行い、医療や介護等の適切な支援に努めている。

今後とも、行政と地域、医療機関、介護事業所など様々な関係者が連携し、誰にでもやさしい高岡を目指していく。

農業用排水路

副 市街化区域内の農業用排水路について、将来的に機能がなくなった場合、どのような手続きが必要なのか。

産業振興部長 市街化区域内の農業用排水路は、沿線の行き場のない雨水の受け口として、防災面においても重要な役割を果たしている。機能がなくなった場合でも適切に水路が管理されるよう、手続きも含め、関係課や農業用水管理団体、地域の方々と対応を協議していきたい。



福井 直樹
同 志 会

福井議員の
質問の様子はこちら



産業振興部所管の次期計画

副 本市の産業振興ビジョン、観光振興ビジョン及び農林水産業振興プランの次期計画について、策定の方針は。

産業振興部長 現在の3つの計画は、新しい総合計画が掲

げる市の将来像及び基本方針に沿ったものとすべく、終期を1年延長し、調整を図る。また、次期計画の策定の方針としては、産業振興ビジョンは地域産業の強靱化を図る計画、観光振興ビジョンは観光客の滞在満足度及び消費額の増大を図る計画、農林水産業振興プランは持続可能な農林水産業を目指す計画としていきたい。

呉西圏域連携事業

副 第3期とやま呉西圏域都市圏ビジョンの素案では、連携事業が31事業に減っているが、事業再編の考え方は。

未来政策部長 第3期ビジョンの素案では、現行の第2期ビジョンにおける33事業を基



とやま呉西圏域共創ビジネス研究所運営事業

本とした上で、より効率的な広域連携となるよう30事業に整理・統合するとともに、将来的な連携を見据えて新たに1事業を創設し、計31事業とした。さらに、第3期ビジョンの骨子に定める重点的な視点に基づき、ICT教育環境に関する事業や広域防災に関する事業等、各連携事業の見直しや拡充を図っている。

市立大学設立の検討

副 市立大学設立の意義と設立への思いは。

市長 市立大学は、地域社会のニーズに応じた人材育成を行うことが可能であり、本市全体の発展や活性化につながる期待が大きい。さらに、県外からの学生が増え、人口対策に寄与するとともに、地元学生の進学先の選択肢が広がり、卒業後は、地元企業での就職が期待され、人手不足の不安払拭にもつながる。本市は教育環境、交通便利性に恵まれており、市立大学の設置を検討するに十分なポテンシャルを有している。一方、運営形態や財政負担など様々な課題があることは認識している。市立大学設置については、実現の可能性を探りつつ、市民等による気運の広がりを慎重に見極めていきたい。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 庁用車維持管理費について、毎年数台ずつ車両を更新し、当面は現在の車両台数を維持していくことだが、市長が使用する庁用車のリース解除により1台減となるのでは。

答 廃車予定としていた車両を引き続き使用していくことで、車両台数を確保したい。

○民生病院常任委員会

問 ようこそ赤ちゃん！おむ

つ応援事業費について、おむつ券が利用できる店舗は。また、オンラインでも利用できるのか。

答 富山県医薬品小売商業組合の高岡支部に加盟している57店舗で利用できる。また、現時点ではオンラインの利用は想定していない。

○産業建設常任委員会

問 液状化対策事業費等の財源について、県では総額30億円規模の基金を創設し、面的な液状化対策費用のうち、長寿命化費用の2分の1をその運用益でまかなうとのことである。本市では、長寿命化費用の残りの2分の1をどのようにに工面していくのか。また、県や関係市と連携し、基金を増やして一緒に運用することを検討しては。

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月25日(火)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 2日(火) 11時 議員協議会
13時 本会議 (提案理由説明)
5日(金) 10時 本会議 (代表質問)
10日(火) 10時 本会議 (一般質問(一括))
11日(水) 10時 本会議 (一般質問(一括))
12日(木) 10時 本会議 (一般質問(一括)予備日)
15日(日) 10時 議会運営委員会
16日(月) 10時 本会議 (一般質問(一問一答))
18日(水) 9時 代表者会議
10時 民生病院常任委員会
13時 産業建設常任委員会
19日(木) 10時 議会運営委員会
13時 総務文教常任委員会
23日(月) 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
13時 本会議 (議案など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

本号は、10月26日(日)に高岡市議会議員選挙が行われた影響で、発行から1か月遅れての配布となりました。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

6月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和7年 7月	—	1人
8月	—	0人
9月	175人	3人

編集後記

高岡市議会9月定例会が開会しました。出町新市長にとって初めてとなる今定例会では、市長の身を切る改革が早速実行に移され、その強い決意を感じました。この熱意が、令和6年能登半島地震からの一日も早い復興の原動力になることを期待しています。また、決算特別委員会と水道病院決算特別委員会が開催され、令和6年度の決算が無事に認定されました。最終日には、長きにわたり市議会を牽引してこられた大井議員、狩野議員から勇退議員としての挨拶があり、ご自身の経験談だけでなく、市長や市職員、私たち議員への激励と期待の言葉をいただき、胸が熱くなりました。

多くの先輩方が築き上げてきたこの歴史ある議会が、これから市民の信頼に応える誇り高き議会であり続けるために、改めて身を引き締め、未来へ邁進することを決意しました。(後井 記)

★編集委員

◎山上 ○後井

熊木、梅島、田中、埜田、中村、坂林、酒井

(◎委員長 ○副委員長)

用語解説コーナー
地域包括ケア病棟
急性期の治療を終えた患者が自宅等への退院準備を行う病棟。医師、看護師、リハビリスタッフ等の多職種で連携し、患者のケアに取り組み、安心して退院できるよう支援する。

※3ページ掲載



排水ポンプ車の活動の様子

排水ポンプ車
水を吸い上げるための排水ポンプとそれに必要な電源など、全ての機器をトラックにのせたもの。大雨で浸水した場所(災害現場等)に出動し、あふれた水を吸い上げて排水することにより、浸水被害を最小限に抑える役割を持つ。

※8ページ掲載